

中越パルプ工業・三菱製紙合併について

～国際競争力の強化と環境との調和を図り、
社会に貢献する総合プリンティングメディアメーカーを目指します～

2005年1月31日（月）
於：帝国ホテル

中越パルプ工業株式会社
三菱製紙株式会社

本合併の概要

- 方法 : 合併（吸収合併方式）
- 合併期日 : 2005年10月1日（予定）
- 存続会社 : 中越パルプ工業株式会社
- 合併比率 : 今後の協議により決定

新会社の概要

- 商号 : 三菱中越製紙株式会社（仮称）
- 本社所在地 : 東京都千代田区丸の内3 4 2
- 代表者 : 取締役会長（三菱製紙）
: 取締役社長（中越パルプ工業）
- 資本金 : 未定

財務状況

(単位：億円)

	中越パルプ工業 (連結)	三菱製紙 (連結)	単純合算
売上高	1,087	2,370	3,457
営業利益	52	46	98
経常利益	45	15	60
当期純利益	21	24	45
総資産	1,588	3,747	5,335
時価総額	316	515	831

財務数値は2004年3月期の実績値。

時価総額は2005年1月27日の終値に発行済株式数を乗じて算出。

今後の日程

- **2005年 5月下旬：合併契約書締結（予定）**
（合併比率については決定次第発表致します。）
- **2005年 6月下旬：合併契約書承認株主総会（予定）**
（定時株主総会）
- **2005年 10月1日：合併期日（予定）**

合併の背景～製紙業界を取り巻く環境～

国内紙需要の伸び悩み

東アジアマーケットの一体化
(中国製紙産業の急成長)

生き残りに向けた取組みの必要性

事業規模の拡大

経営の安定化・効率化

収益性の向上

合併の効果

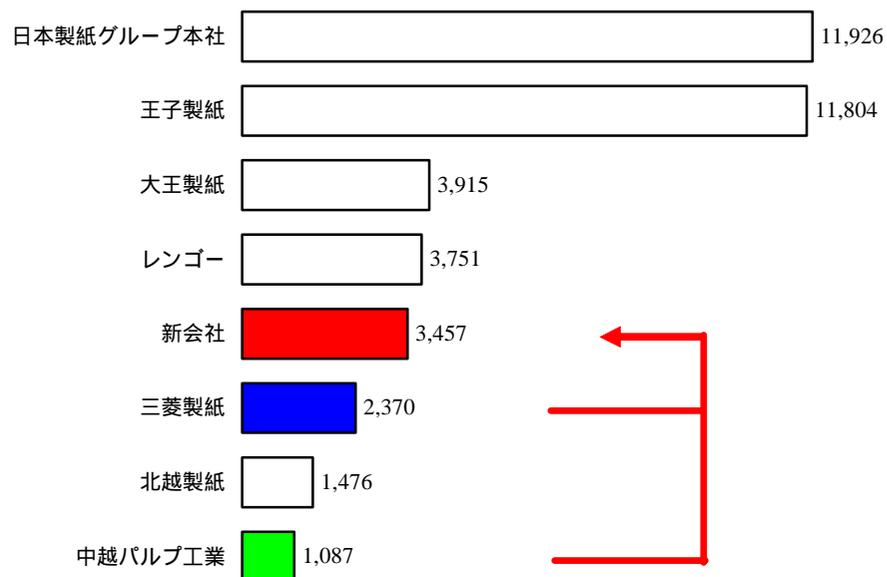
■事業基盤の強化を図る

- 製紙業界での地位確立
- 補完関係の高い工場配置
- 幅広い商品ラインナップと厚みのある商品群の実現
- 販売力の強化充実
- コストシナジーの実現へ

業界内での地位

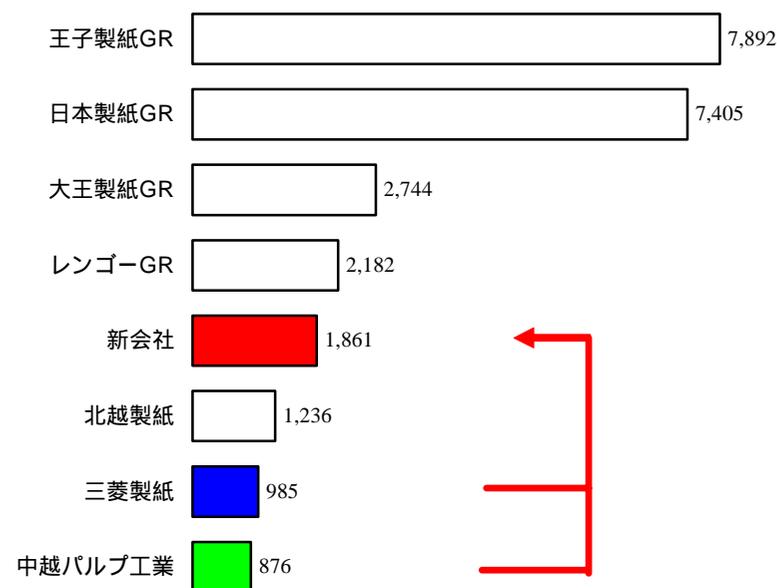
■売上高・生産量ともに大手グループの一角へ

連結売上高 (単位：億円)



(注) 2004年3月期連結ベース実績値
(資料) 有価証券報告書等

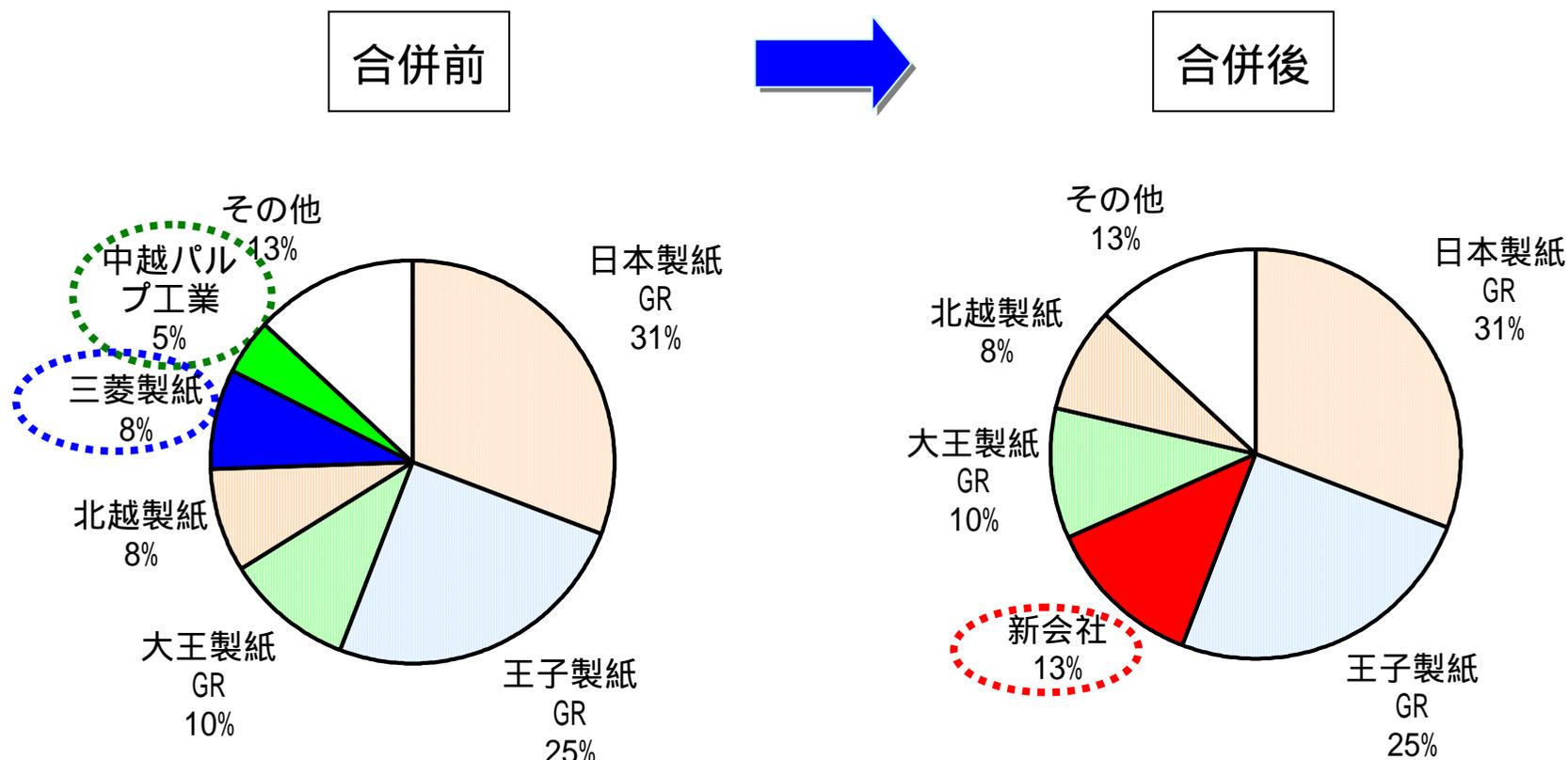
国内(紙・板紙)生産量 (単位：千t)



(注) 2003年実績値
(資料) 日本製紙連合会資料より作成

「印刷情報用紙」のシェア

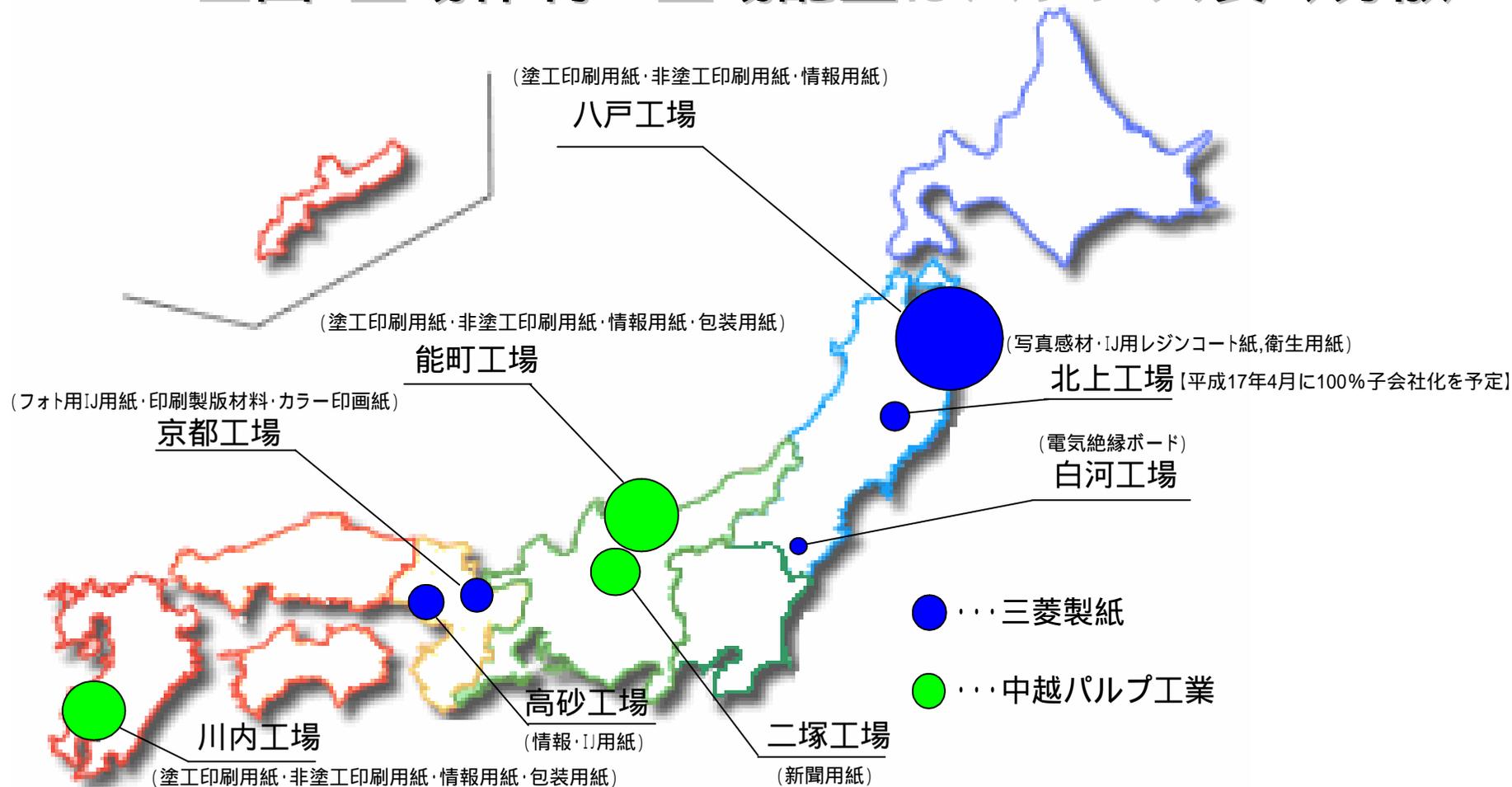
■ 合併後のシェアは業界第3位まで上昇



(注) シェアは生産量ベース (2003年実績値)
(資料) 日本製紙連合会資料より作成

新会社の生産体制

■全国8工場体制・工場配置はバランス良く分散



新会社の主要商品

■ 塗工・上級印刷用紙でのプレゼンスアップへ

■ 包装用紙・新聞用紙・印刷製版材料など、商品補完性を活かす

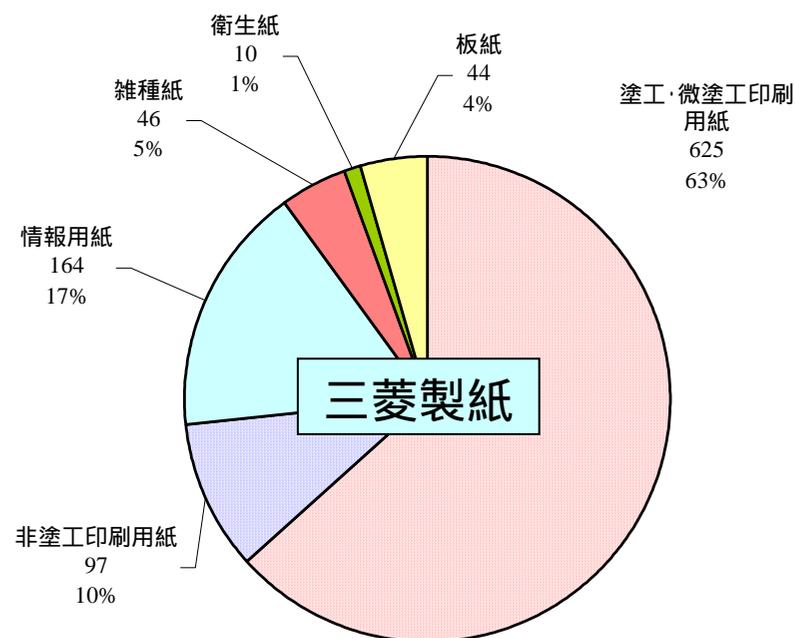
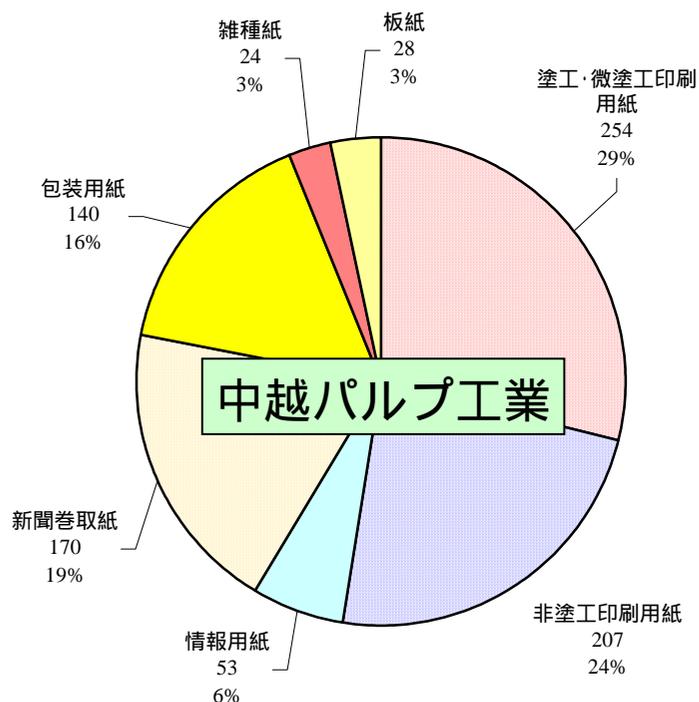
商品	塗工・微塗工印刷用紙		上級印刷用紙		情報用紙		包装用紙		新聞用紙		塗工白板紙		感光材料
国内生産量(千トン)	6,380		1,350		1,700		959		3,552		590		-
中越パルプ工業	雷鳥スーパーアート		雷鳥上質		フォーム用紙		未晒しクラフト		超軽量新聞紙		アストル-T		
	雷鳥コート		淡クリームせんだい				スーパーゴールド				ブランシュ-T		
三菱製紙	高級アート 特菱アート		金菱		感圧・感熱紙						ジョイポリー		レジンコート紙
	パールコート ニューVマット		書籍用紙		インクジェット用紙						ハイパール		印刷製版材料
	生産量	業界順位	生産量	業界順位	生産量	業界順位	生産量	業界順位	生産量	業界順位	生産量	業界順位	
中越パルプ工業	254		162		53		140		170		19		
三菱製紙	625		93		160		0	-	0	-	44		
合計	879		255		213		140		170		63		

(資料：日本製紙連合会資料より作成 2003年実績値)

紙・板紙品種構成（合併前）

■中越パルプ工業は、新聞用紙・包装用紙含め幅広く展開

■三菱製紙は、塗工印刷用紙・情報用紙に強みを有する

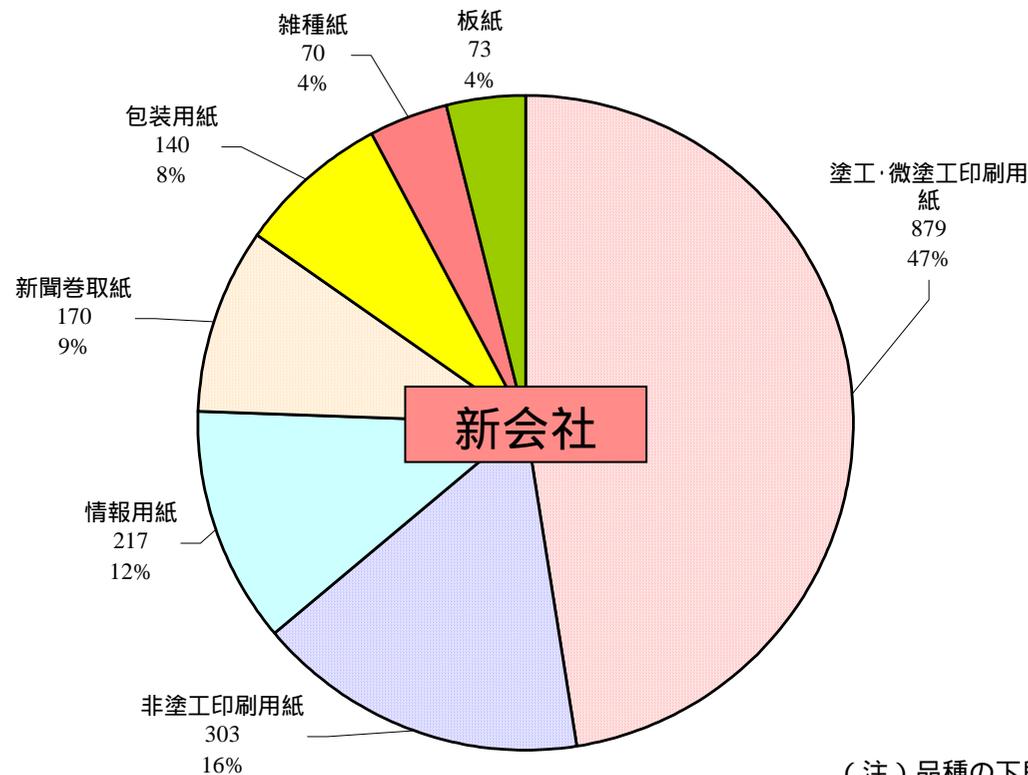


(注) 品種の下段の数字は生産量 (単位: 千トン)
%は社内構成比。(2003年実績値)

(資料) 日本製紙連合会資料より作成

新会社の紙・板紙品種構成

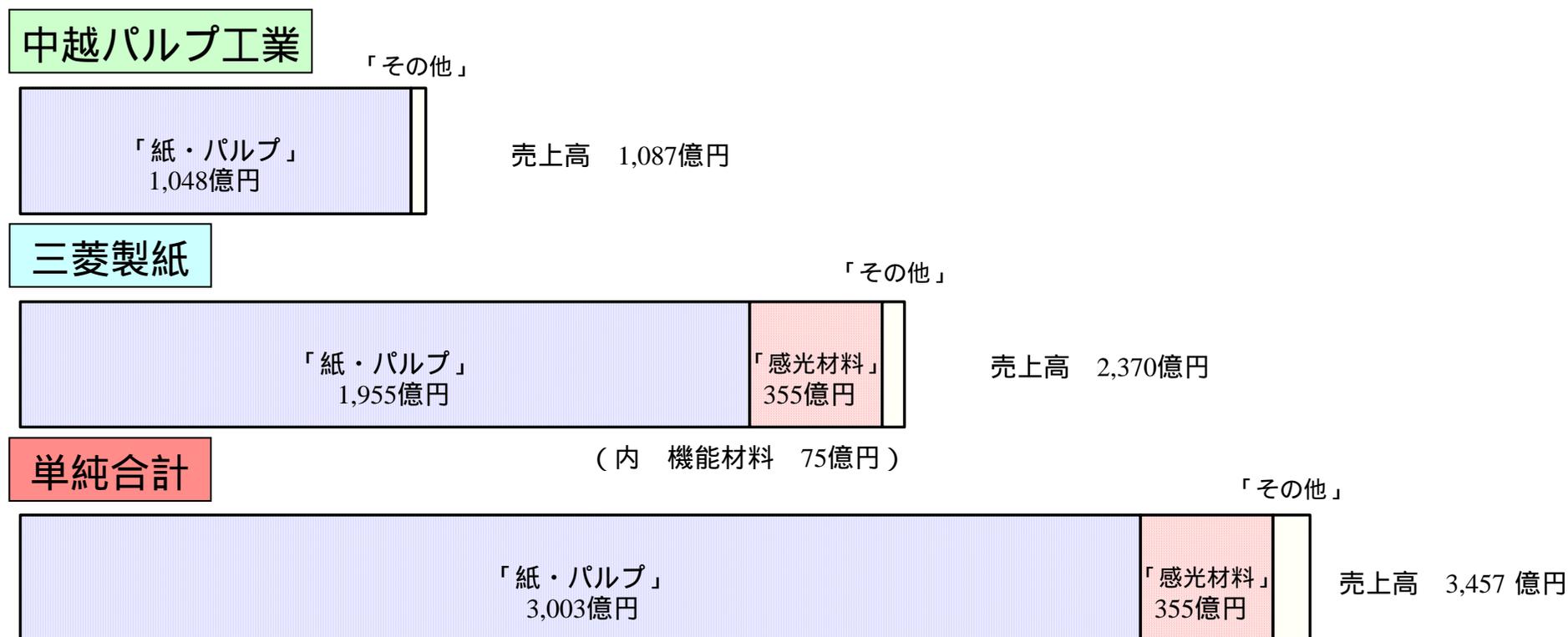
■ 「各品種の基盤強化」と「幅広い商品体系」の獲得



(注) 品種の下段の数字は生産量 (単位: 千トン)
%は新会社での構成比。2003年実績値
(資料) 日本製紙連合会資料より作成

新会社のセグメント構成

- 「感光材料」部門の技術を生かし、「紙・パルプ」部門との相乗効果も追求



コストシナジーの実現

■年間50億円を想定

- 品種再配置・生産効率の向上 (15億円)
- 立地条件を活かした物流合理化 (8億円)
- 資材調達合理化 (20億円)
- 人件費削減 (5億円)
- その他 (2億円)

新会社の技術開発

■両社が持つ技術の融合・研究開発の効率化

主要技術

中越パルプ工業

三菱製紙

●古紙利用技術

●コーティング技術

技術を活用した商品

➤新聞用紙
➤レジーナ書籍

➤インクジェット用紙
➤感熱記録紙
➤印刷製版材料

環境への取り組み

■環境保全活動の更なる充実

- 植林事業の推進（～2003年合計実績 31,100 h a）

チリ・エクアドル・オーストラリア・ニュージーランド

- 省エネルギー・廃棄物利用 CO₂削減

バイオマス燃料ボイラー : 八戸・北上・能町・川内

リサイクル資源 / R P F ボイラー : 八戸・二塚

■環境負荷の少ない新技術・新商品の開発

- FSC森林認証紙（三菱製紙）
- 再生紙シリーズ（中越パルプ工業）

三菱中越製紙株式会社は、
国際競争力の強化と環境との調和を図り、
社会に貢献する総合プリンティングメディア
メーカーを目指します。

将来予測に関する注意事項

当資料に記載されている見通し数値や表現は、現時点において入手可能な情報から得られた判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含む仮定や考え方に基づくものであり、実際のものとは大きく異なる結果となる場合もあります。また、記載された計画数値や施策の実現を確約したものではありません

使用用紙：三菱ジェットレーザー 81.4g/m²